

## 医学生の学力低下問題に関する アンケート調査結果 2013年

- アンケート対象：  
全国国公立医科大学(医学部)80校  
医学部長あるいは教育担当責任者
- 調査対象期間：  
2012年4月～2013年4月 在籍学生  
(参考)  
(過去第一回調査：2005年4月～2010年4月)  
(過去第二回調査：2010年4月～2012年4月)

全国医学部長病院長会議・医学生の学力低下問題に関するWG

## 医学生の学力低下の背景

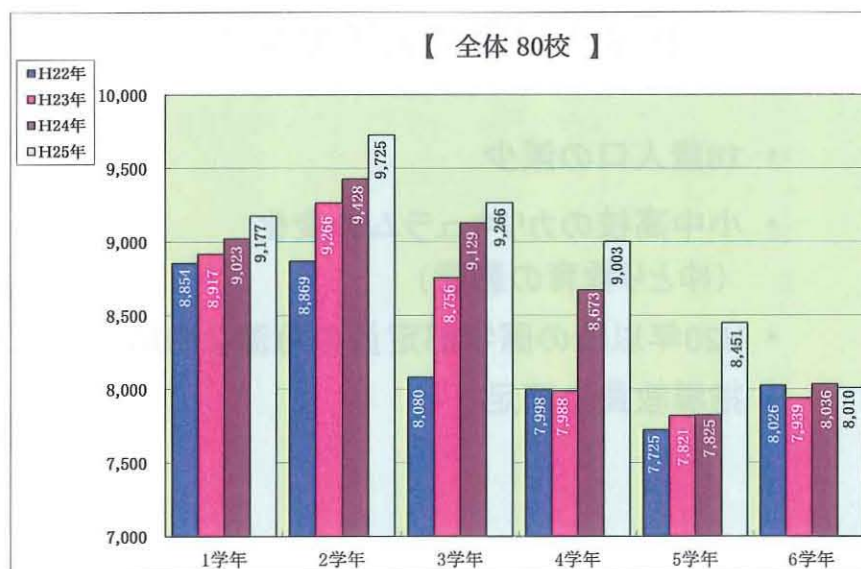
- 18歳人口の減少
- 小中高校のカリキュラムの変化  
(ゆとり教育の影響)
- H20年以降の医学部定員の急激な増加
- 指導教員の不足

(参考)

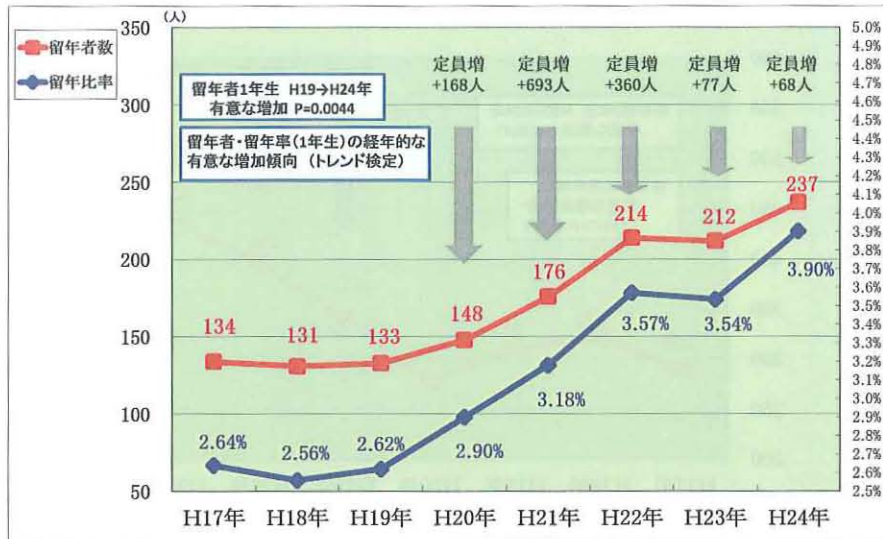
### 過去6年間の医学部入学定員の推移

|      | 入学定員            | 増員数   | (累計増員数)   |
|------|-----------------|-------|-----------|
| H19年 | 7,625名<br>(抑制時) | —     | —         |
| H20年 | 7,793名          | + 168 | (+ 168)   |
| H21年 | 8,486名          | + 693 | (+ 861)   |
| H22年 | 8,846名          | + 360 | (+ 1,221) |
| H23年 | 8,923名          | + 77  | (+ 1,298) |
| H24年 | 8,991名          | + 68  | (+ 1,366) |
| H25年 | 9,041名          | + 50  | (+ 1,416) |

### 在学学生数の推移 (H22~H25年)

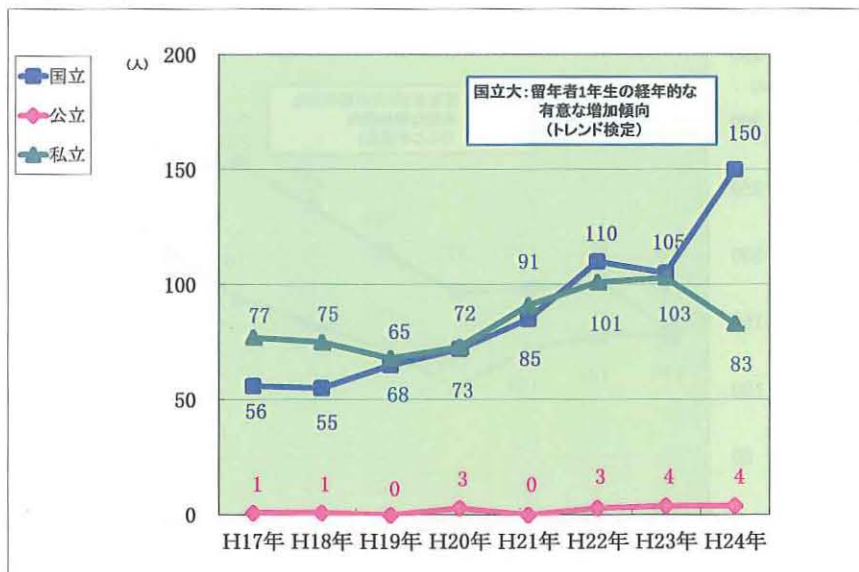


## 留年者1年生 53大学(国立30校 公立2校 私立21校) (連続データのある大学のみ)



(参考) 定員増に比例した予測増加率(H19年を基準) 2.62% 2.68% 2.91% 3.04% 3.07% 3.09%

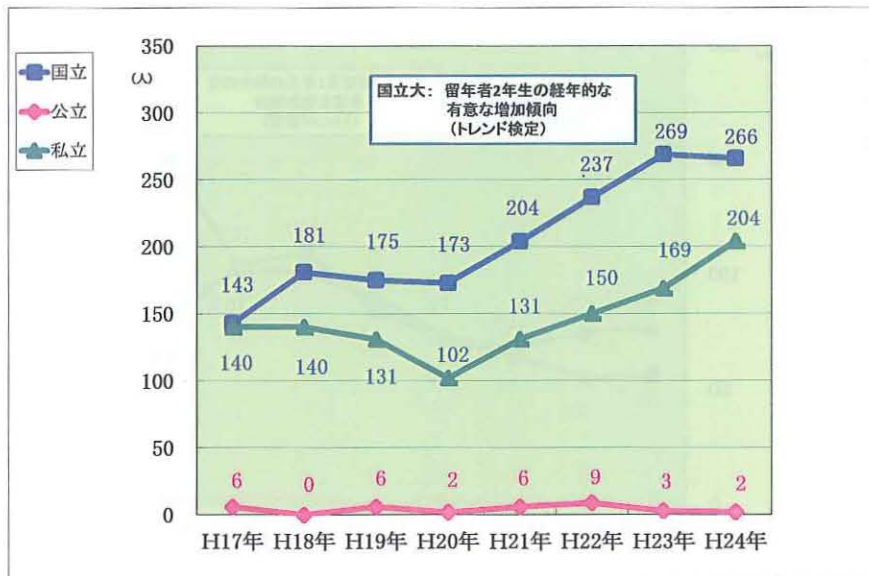
## 留年者1年生 学校種別



**留年者2年生** 53大学(国立30校 公立2校 私立21校)  
(連続データのある大学のみ)



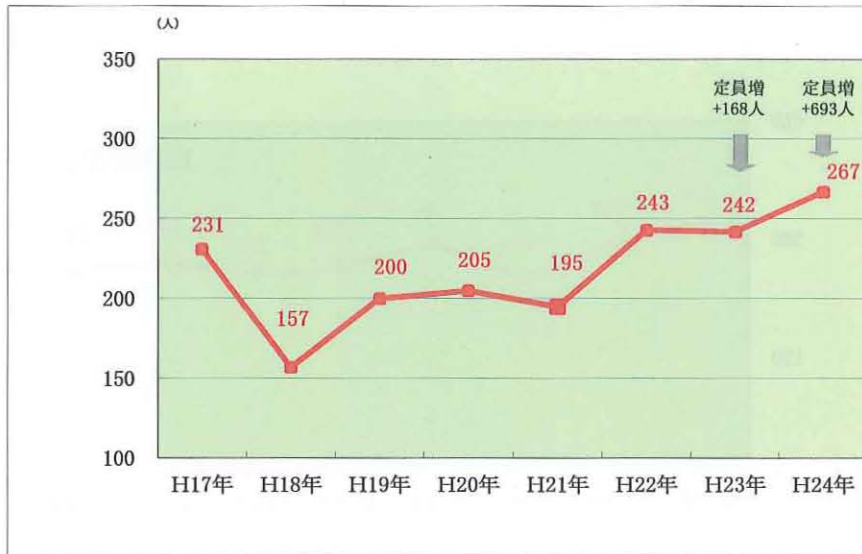
**留年者2年生 学校種別**



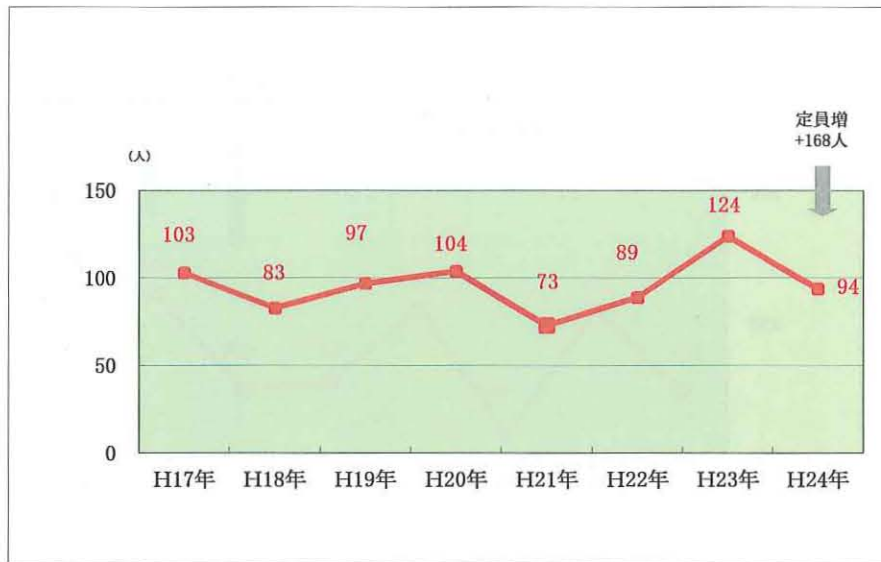
**留年者3年生** 53大学(国立30校 公立2校 私立21校)  
 (連続データのある大学のみ)



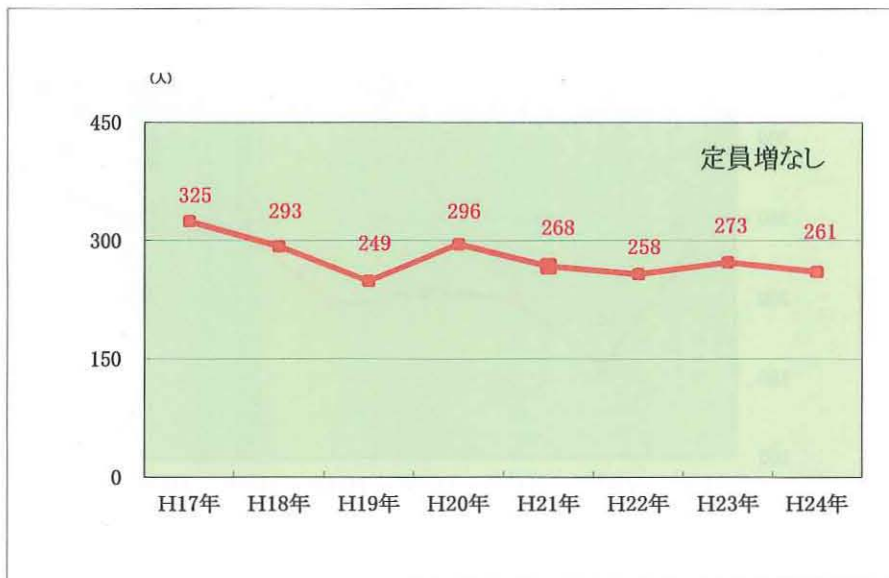
**留年者4年生** 53大学(国立30校 公立2校 私立21校)  
 (連続データのある大学のみ)



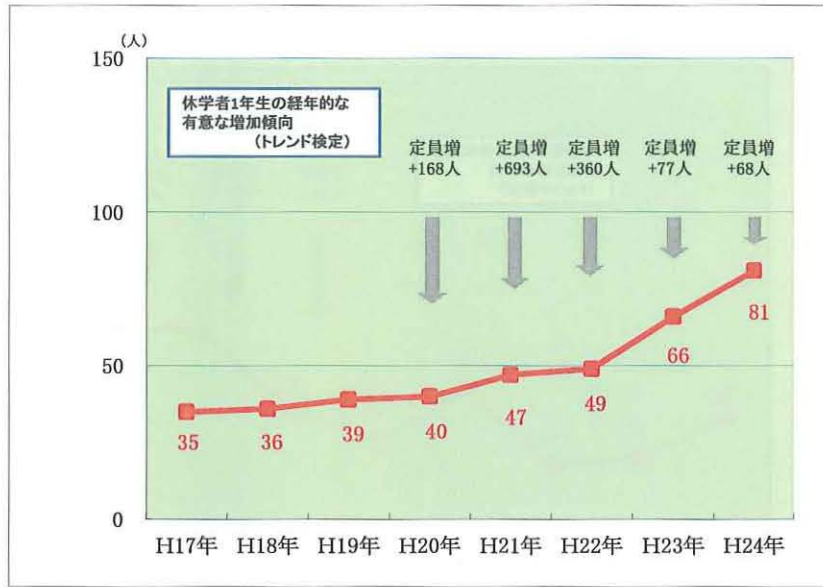
**留年者5年生** 53大学(国立30校 公立2校 私立21校)  
 (連続データのある大学のみ)



**留年者6年生** 53大学(国立30校 公立2校 私立21校)  
 (連続データのある大学のみ)



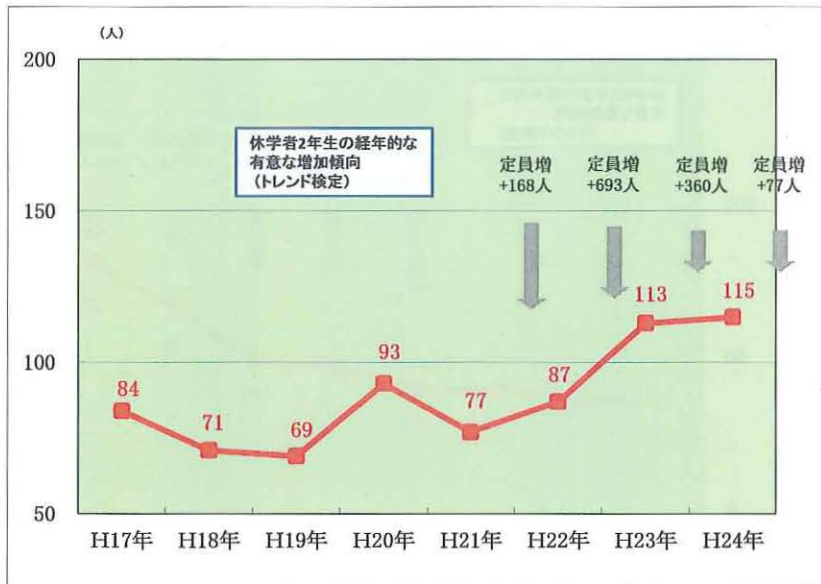
**休学者1年生 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)**  
 (連続データのある大学のみ)



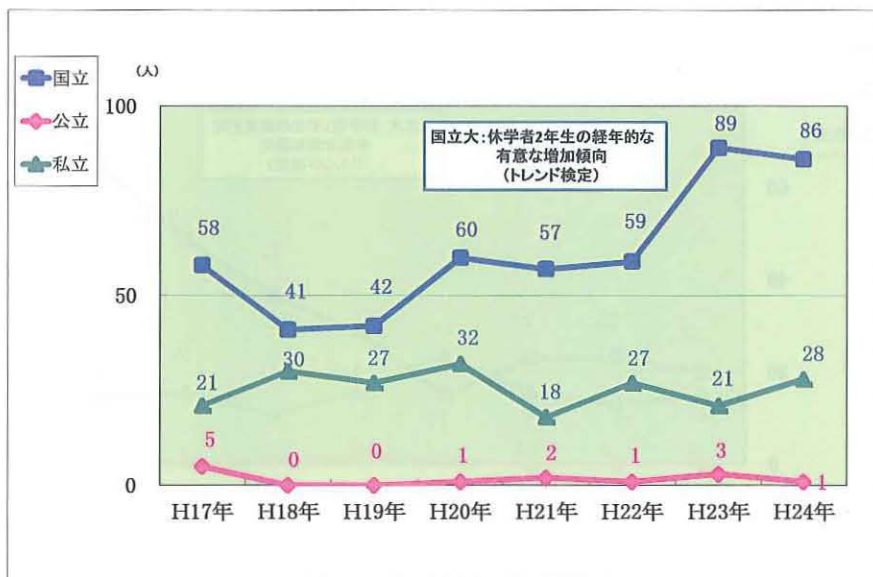
**休学者1年生 学校種別**



休学者2年生 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)  
(連続データのある大学のみ)

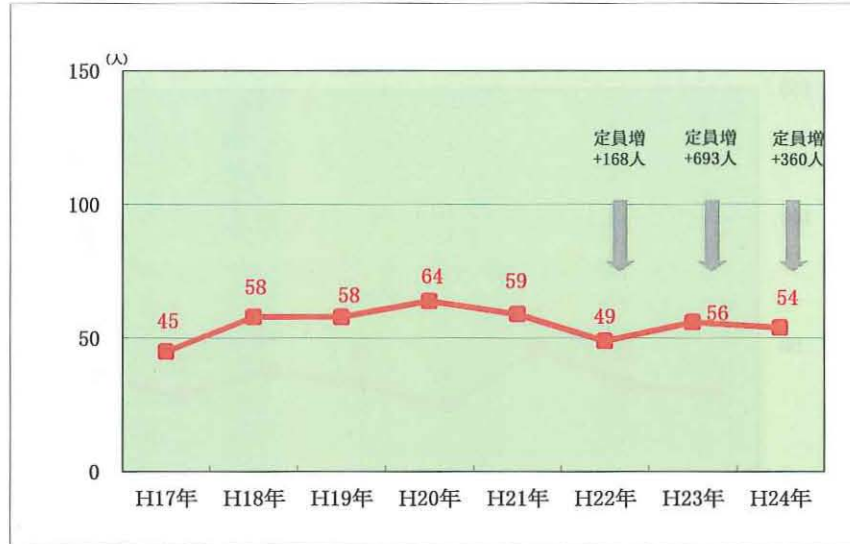


休学者2年生 学校種別

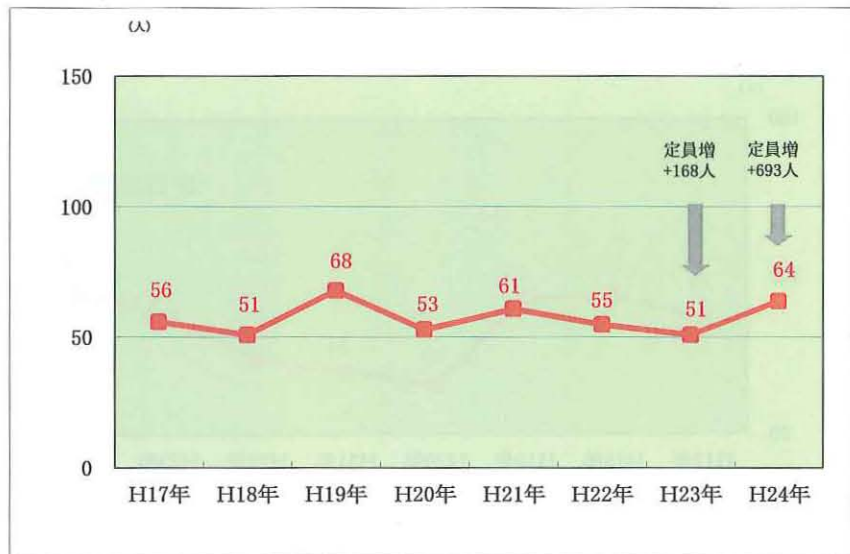




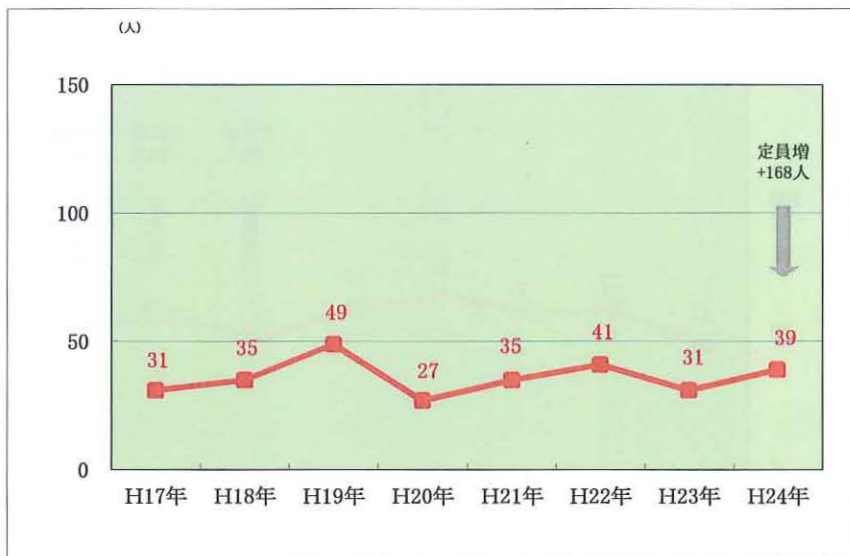
**休学者3年生** 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)  
 (連続データのある大学のみ)



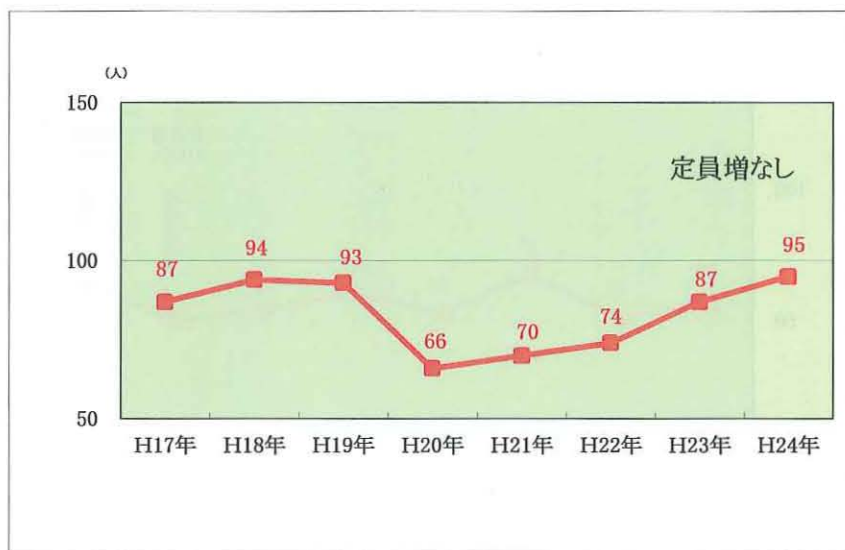
**休学者4年生** 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)  
 (連続データのある大学のみ)



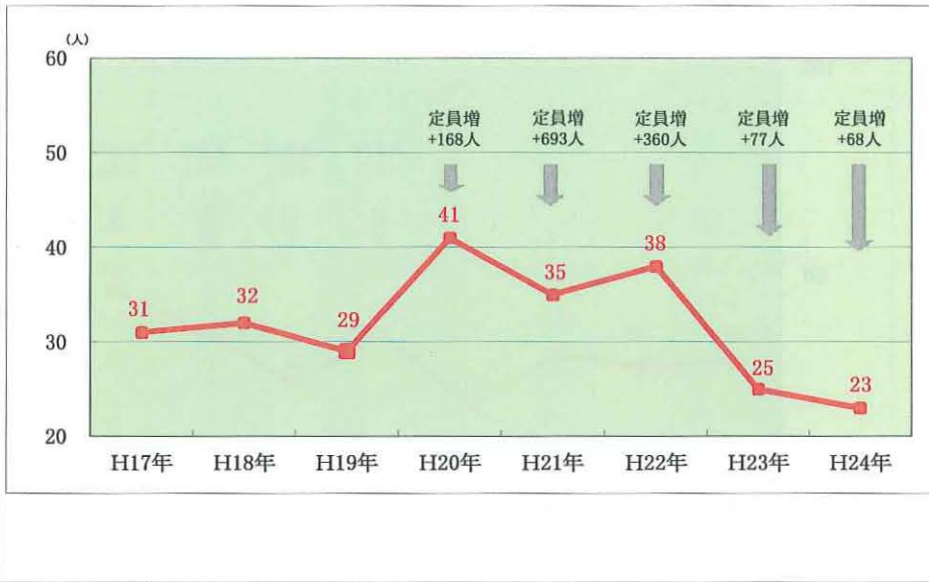
**休学者5年生** 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)  
 (連続データのある大学のみ)



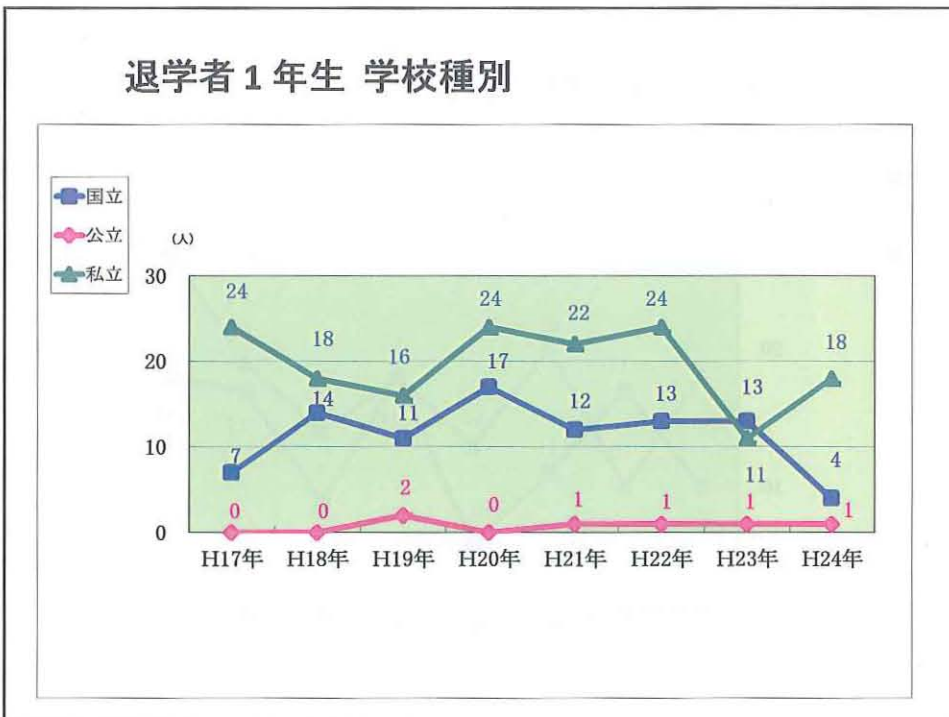
**休学者6年生** 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)  
 (連続データのある大学のみ)



退学者1年生 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)  
 (連続データのある大学のみ)



退学者1年生 学校種別

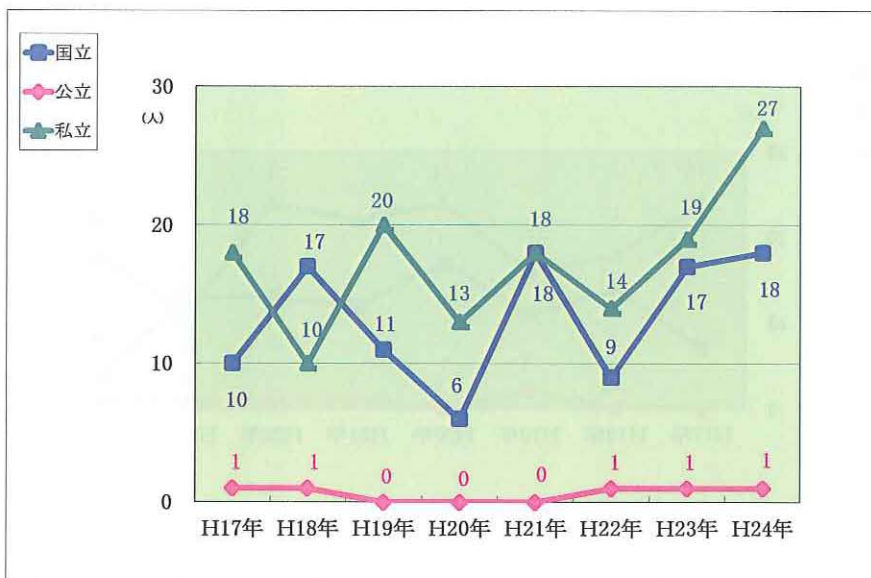


## 退学者2年生 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)

(連続データのある大学のみ)



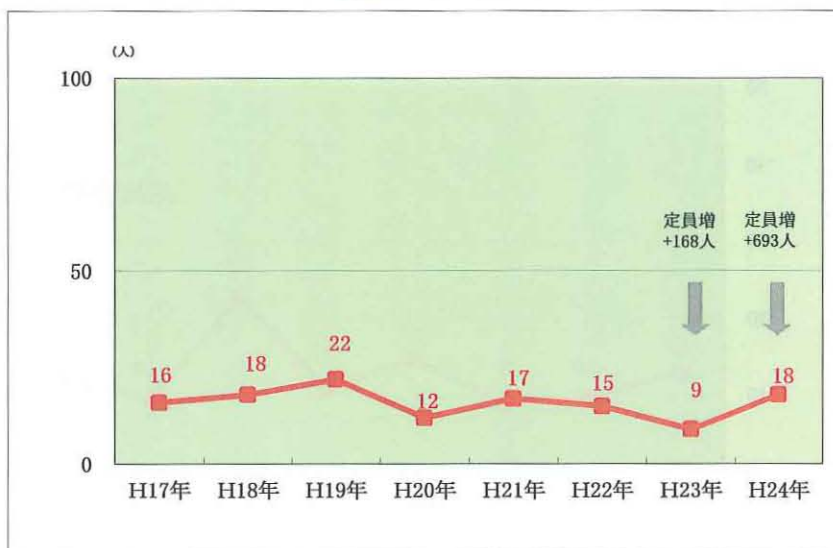
## 退学者2年生 学校種別



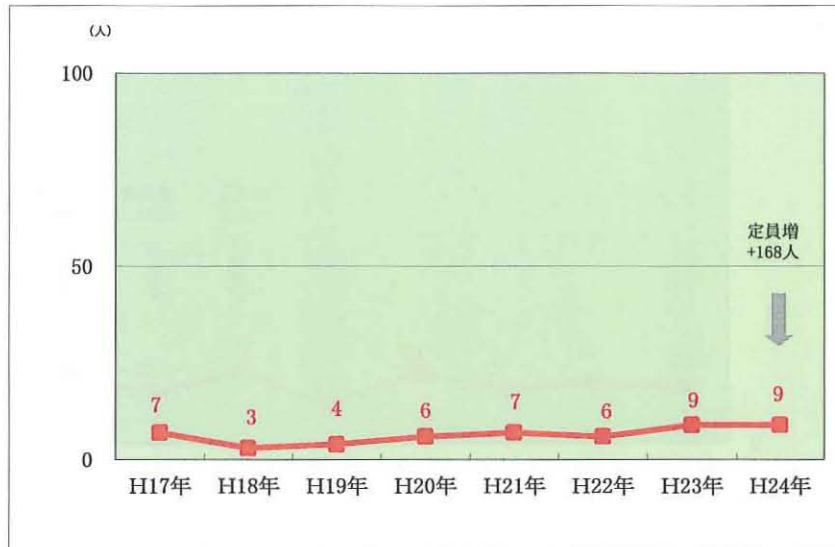
**退学者3年生** 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)  
 (連続データのある大学のみ)



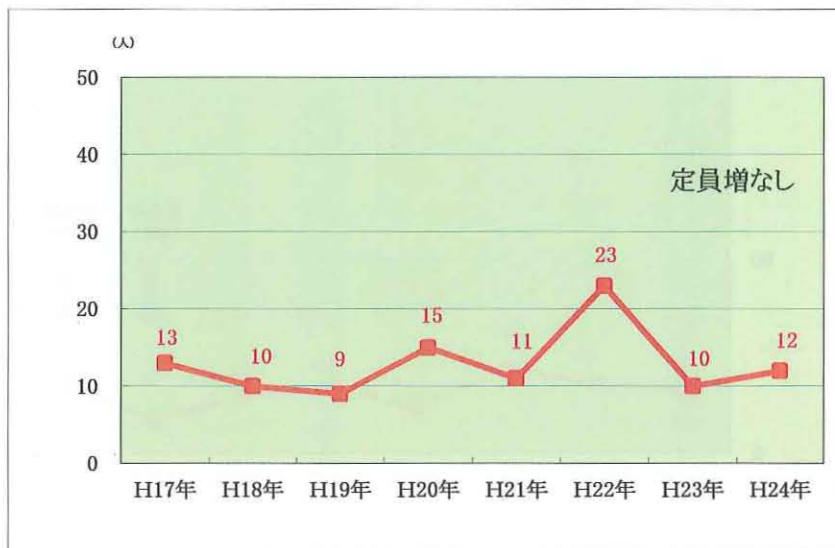
**退学者4年生** 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)  
 (連続データのある大学のみ)



**退学者5年生** 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)  
 (連続データのある大学のみ)

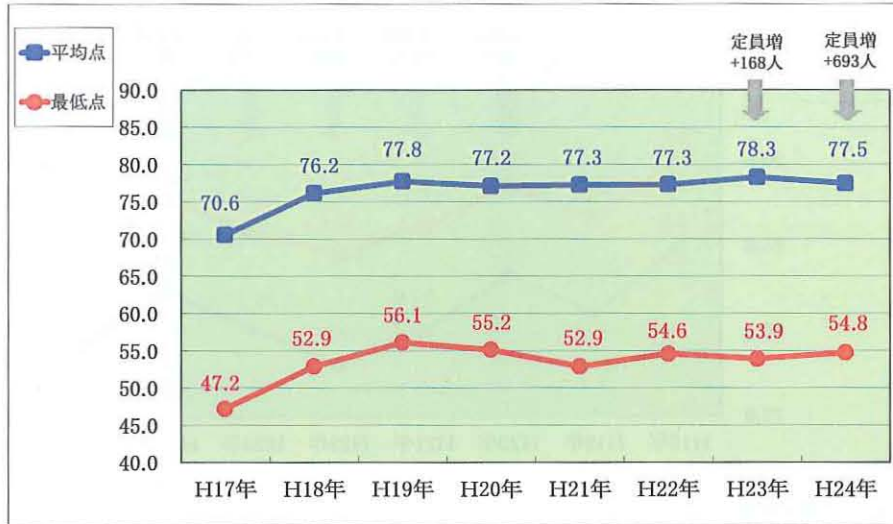


**退学者6年生** 50大学(国立28校 公立2校 私立20校)  
 (連続データのある大学のみ)



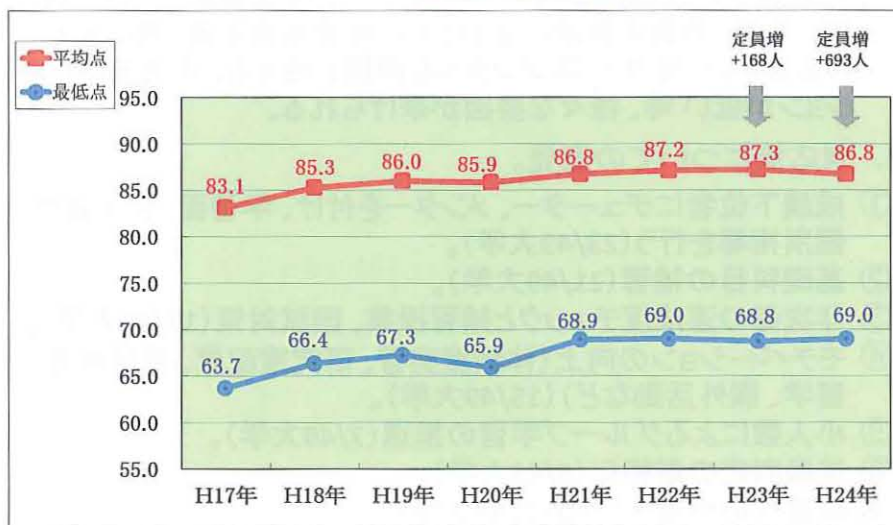
### 共用試験 4 年生 (CBT 平均点と最低点)

72大学 (国立37校 公立6校 私立29校)  
(連続データのある大学のみ)

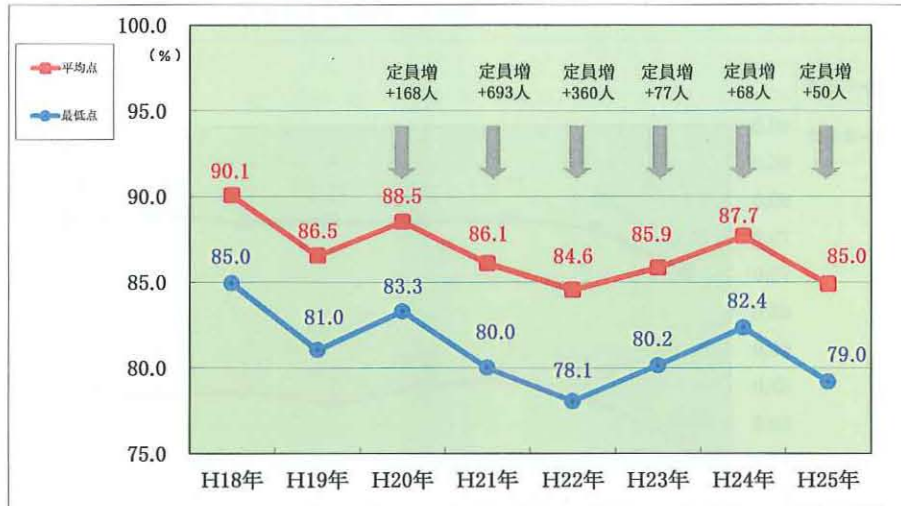


### 共用試験 4 年生 (OSCE 平均点と最低点)

72大学 (国立37校 公立6校 私立29校)  
(連続データのある大学のみ)



前期一般入試、最終合格者のセンター試験の平均点・最低点  
(H18~24年:31校、H25年:30校)



(参考) 主要6教科の全国平均

|      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|
| H18年 | H19年 | H20年 | H21年 | H22年 | H23年 | H24年 | H25年 |
| 66.0 | 61.2 | 62.7 | 61.4 | 56.6 | 61.2 | 64.7 | 58.2 |

学力低下についての自由意見 (49大学の要約)

1. 学力低下には、①基礎学力の低下、②社会規範の欠如(遅刻、欠席、教員の指示に従わない、授業態度不良、呼び出しに応じない、等々)、③メンタルな問題を抱える、④モチベーションが低い等、様々な要因が挙げられる。
2. 対応策についての意見。
  - ①成績下位者にチューター、メンターを付け、学習面・生活面で個別指導を行う(23/49大学)。
  - ②基礎科目の補習(21/49大学)。
  - ③年次毎の達成度チェックと補習授業、国試対策(17/49大学)。
  - ④モチベーションの向上(体験型実習、研究室配属、英語教育、留学、課外活動など)(15/49大学)。
  - ⑤小人数によるグループ学習の推進(7/49大学)。
  - ⑥進級判定の厳格化(6/49大学)。
  - ⑦授業への出席チェック(2/49大学)。



## アンケート結果のまとめ

1. 在籍学生数は、増加傾向にあるが、高学年の学生数は、増員分をやや下回る傾向にある。特に、2年次で在籍者が滞っている。
2. 留年者は、1-4年次学生で、休学者は、1-2年次学生で、前回調査に引き続いて、さらに増加(留年者は1年、2年次とも有意な増加を認め、留年者、休学者とも経年的に有意な増加傾向を認める)。
3. 4年次学生(4年生まで進級できた学生)の共用試験(CBT、OSCE)の平均点、最低点は、不変である。
4. 6年次学生(全て増員前の学生)の医師国家試験合格者数、在籍者に対する合格者比率は、不変である。
5. センター試験採用の大学における最終合格者のセンター試験の平均点、最低点は、全国の実験者の平均点にほぼ相関している。
6. 大学教員の多くが、医学生の学力低下を実感しており、各大学は、様々な対応策を講じている。

## 結 語

多くの教員が、医学生の学力低下を実感しており、今回の調査でも、引き続き、低学年での留年者、休学者が増加している。

学力以外にも、社会性の乏しい学生や、精神的な問題を抱えた学生など、様々な問題を抱えた学生が増えていることが指摘されている。

今後、少子化の進展により、医学部入学の門戸はさらに広がることが予測される。これ以上の大幅な定員増、あるいは医学部新設は、医学生の資質の一層の低下を招く恐れがあり、また、教員の負担増も強く懸念される。

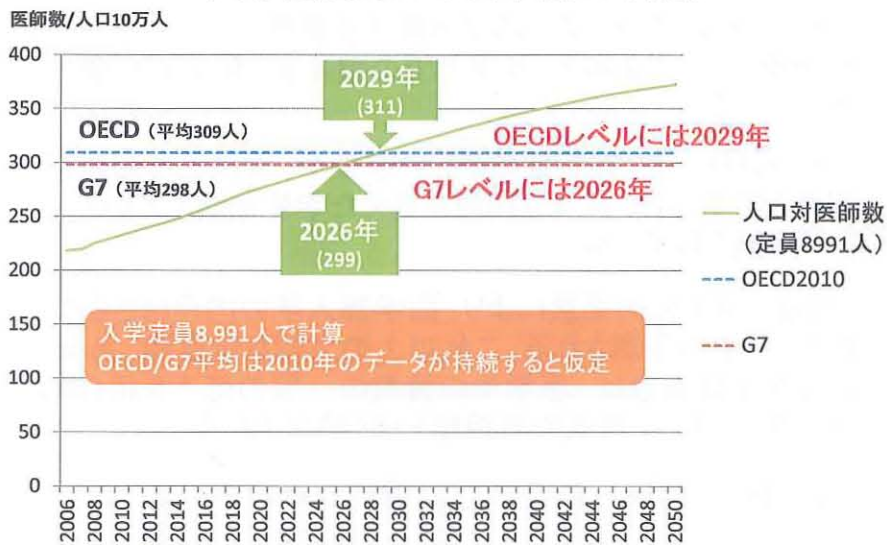
引き続き、関係各方面に対し、適切な対応を求めたい。

(参考資料) 医学部入学定員と18歳人口の推移

|                  | 入学定員   | 18歳人口  | 18歳人口の<br>何人に1人が<br>入学するか? | 18歳人口千人<br>当たりの入学者 |
|------------------|--------|--------|----------------------------|--------------------|
| S41年             | 3,560人 | 249万人  | 1 / 699人                   | (1.4 / 1000人)      |
| S56年<br>(新設医大設置) | 8,280人 | 161万人  | 1 / 194人                   | (5.1 / 1000人)      |
| H19年<br>(削減時)    | 7,625人 | 130万人  | 1 / 170人                   | (5.9 / 1000人)      |
| H25年<br>(増員後)    | 9,041人 | 123万人  | 1 / 136人                   | (7.4 / 1000人)      |
| H42年<br>(2030年)  | 9,041人 | 104万人* | 1 / 115人                   | (8.7 / 1000人)      |

(\*H24年出生数 104万人)

わが国の医師数の動き  
—入学定員8,991人(平成24年度)—



(千葉大学医学部附属病院地域医療連携部 藤田伸輔氏提供)